

令和6年度(2024年度)小中高生の外務省訪問
(6月分)

令和6年7月22日(10月3日更新)

- 愛知県 春日井市立東部中学校(令和6年6月3日)
講 師: 松井宏樹 総合外交政策局人権人道課 企画官
開 催 形 式: 対面

- 愛知県 名古屋市立高針台中学校(令和6年6月4日)
講 師: 杉浦雅俊 北米局日米地位協定室 室長
開 催 形 式: 対面

- 岐阜県 大垣市立上石津学園(令和6年6月5日)
講 師: 矢島一平 国際法局経済紛争処理課 主査
開 催 形 式: 対面

- 東京都 私立創価中学校(令和6年6月6日)
講 師: 山崎太 大臣官房在外公館課在外勤務支援室 課長補佐
開 催 形 式: 対面

- 愛知県 名古屋市立浄心中学校(令和6年6月13日)
講 師: 安井佑太郎 アジア大洋州局北東アジア第二課 主査
開 催 形 式: 対面

- 茨城県 私立常磐大学高等学校(令和6年6月19日)
講 師: 藤澤葵一 アジア大洋州局北東アジア第一課 主査
開 催 形 式: オンライン

- 愛知県 名古屋市立猪子石中学校(令和6年6月26日)
講 師: 石川大貴 軍縮不拡散・科学部生物・化学兵器禁止条約室 主査
開 催 形 式: 対面

参加生徒からの感想(抜粋)

- 今まで遠くて難しいと感じていた外務省の仕事が身近に感じられた。外国での仕事に興味を持っていることもあり、今回の話を聞いて将来の選択肢が広がった。
- 外交官の人生を聞くことができ、とても有意義な時間になった。本当の「外交」とはどのようなものか、自分も海外に行って確かめたみたいという意欲が高まった。
- 大使館での勤務経験のある職員の話聞いたのが良かった。経験してきた仕事の1つ1つを丁寧に説明し、仕事内容や成功例、今後の予想についても話してくれて、外務省の世界について具体的に知ることができた。
- 職員との懇談では、国と国とを、友人と友人に置き換えるなど、身近で分かりやすい説明が多く、理解が深まった。
- 仕事をしていく上で大切なことを学び、大変良い訪問となった。総理や大臣の外国訪問などで、外務省職員が通訳をしていることを知り、外務省の仕事に対する理解・意識が大変深まった。好奇心がとても重要だという事がわかった。
- 外務省についてあまり知らない私達にも分かるよう、イメージしやすい例を挙げて説明してもらい、大変良い訪問となった。同世代である、外国の中学生が文字を練習しているのを見て、国際交流にとっても興味を持てた。

先生からの感想(抜粋)

- 記者会見室を見ることができて生徒も喜んでいて、職員の話から具体的な仕事内容がイメージできた。
- 職員から、難しい内容を中学生にも理解できるように話してもらい、大変良い訪問となった。生徒達はとても興味深そうに聞き入っていた。質疑応答を通じて、外務省の仕事や国際情勢に対する生徒の理解・意識が大変高まった。
- 職員から海外での生の体験談など、貴重な話を沢山聞くことができ、生徒の心に残ったと思う。